

第20回東日本ミズノ杯実年ソフトボール大会 【競技規則】

1. 競技細則

- (1) 競技規則以外は、2026年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- (2) 試合は、7回又は80分を過ぎて新しいイニングに入らない時間制とする。
- (3) コールドゲームの採用(サスペンデッドゲームは採用しない。)
 - ◆ 3回15点差、4回10点差、5回以降7点差で得点差コールドゲームとする。
- (4) 引き分け制の採用。
 - ◆ 80分又は7回終了して同点の場合は、引き分けとする。
- (5) 決勝トーナメント戦のみ、タイブレークを採用する。

2. リーグ戦での順位の決定方法

- (1) 勝ち点制を採用する。
- (2) 配分は、勝ちチーム:2点、引き分けチーム:1点、負けチーム:0点とする。
- (3) 勝ち点が同点の場合は、下記による。
 - ① 失点率(失点/守備イニング)の低いチームを上位とする。
 - ② 失点率が同じ場合は、得点率(得点/攻撃イニング)の高いチームを上位とする。
 - ③ 失点率及び得点率が同じ場合は、当該チーム対戦成績による。
 - ④ 失点率、得点率、対戦成績引き分けと同じ場合は、両チームの代表者による抽選で決する。

3. 選手集合及び打順表提出

- (1) 試合開始予定時刻の30分前又は、前の試合の4回終了までに、当該球場に集合していること。
- (2) 当該球場集合と同時に、必要事項を記入した打順表(5部)を提出すること。
- (3) 相手及び、自チームの打順表は確認後、審判員から渡される。

4. 攻守順の決定

打順表提出時に審判員立会の下「コイントス」によって決定する。
コインの裏表の選択は、先着(打順表持参)チームに優先権を与える。

5. 競技者席

1日目は対戦左側チームを1塁側とし、2日目は原則、対戦左側チームを1塁側とする。
登録者以外は、ベンチに入れない。

6. フィールドイング

- (1) 審判員の指示により、後攻チームより5分間(原則)行う。
天候条件等により時間を短縮及び、省略することもあり得る。
- (2) 1日目は、各チームの初戦のみとする。

7. 試合球

試合球は、日本ソフトボール協会検定ゴム12インチ球:ナガセケンコー製とする。

8. 攻守・選手の交代

- (1) 試合中の攻守交代等は、全て駆け足で行うこと。
- (2) 選手交代等は、監督が速やかに球審に通告すること。

9. 攻守交代時のボール

- (1) 特別に指示がなければボールは、投手板の近くに置く。
- (2) 試合終了後は、審判員に返すこと。

10. 雷鳴について

雷鳴が聞こえたら、試合を中断する。

11. 試合中の傷害処置

事故の応急処置は行うが、全て自己責任とする。(各自スポーツ保険に加入のこと。)

12. 雨天時の開催決定と連絡

- (1) 主管協会からは連絡いたしません。チームから下記へ連絡してください。
- (2) 決定時間：試合の開催決定は第1日目・2日目とも、午前6時00分とする。
- (3) 連絡先：山形県ソフトボール協会 事務局長 黒田重孝

携帯電話 090-8784-6729